



迎春 未来 夢通信 感謝

サンコー物産(株)は
地球温暖化防止に取り組んでいます
未来が変わる。日本が変わる。

全員で結果を創る
大樹の経営実践部隊

2013.1.新春号 vol.14 <http://www.sankobussan.co.jp>



謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。旧年中は沢山のご支援ご援助を賜りまして本当に感謝しております。昨年同様、弊社全社員を代表致しまして、ここに御礼申し上げます。昨年は年間を通じて沢山の問題が発生した一年でしたが、毎年同様皆様からの厳しくも温かいご支援ご援助を賜りました。一企業ではどうしようもない外部環境からの問題も、たくさんのお客様や協力業者さまのご支援ご援助により切り抜けることが出来、本年も仕事を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献する経営理念の実践を継続させて頂けるチャンスが頂けたと考えています。その結果、皆様に恩返しが出来ると考え、本年も全社員一丸となつて、仕事を通じて人間力向上に努めて参ります。

昨年は十二月に政権交代が起こり、決められない政治からの脱却がスタート出来た年でありました。本年はその流れをそのまま組み、年明け早々の緊急経済対策が好感し、円安、株高等感があった昨年から抜け出し、飛躍のスタートを切る上で、スタートダッシュは肝心です。本年は今までの努力を真面目に実践して、いければ、きつとお客様に恩返しが出来る年になると考え、弊社も一致団結して参ります。

弊社の主戦場である建設・土木業界はバブル崩壊、リーマンショック後の市場縮小にも耐えつつ斜陽的な側面がありながらも基幹産業の一つとして、雇用の受け皿として国に貢献出来ております。弊社もその一企業としての責任を自覚しながら、昨年同様業界の血液である情報の懸け橋として、自立的に活動し、昨年同様今年もファーストコールカンパニーとして業界から支持されるよう努める所存です。

何卒、昨年同様本年も皆様からの沢山のご支援ご援助を頂けますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 細川 康一

新年祝賀式並びに第三十九期目標発表会

- 『平成二十五年サンコー物産(株)新年祝賀式並びに第三十九期目標発表会』第一部
- 司会進行
一、開会宣言
一、理念体系の唱和
一、新年を迎えるにあたり、年頭の挨拶
一、来賓挨拶「古谷計務所」
一、表彰
一、自御経営あわせ塾賞
一、自立研究委員会賞
一、暗騒音資料取扱賞
一、企業価値向上賞
一、二〇一三年スローガン賞
- 一、新人社員紹介
一、第三十九期の目標と素案の説明
一、第三十九期売上・粗利・経費目標の発表
一、第三十九期目標達成に向けて
一、職場復帰を果したの思い発表
一、傾聴マナーシメント科卒業プレゼン
一、平成十五年自立研究委員会活動推進
一、平成十五年前期冊子の紹介
一、平成十四年自立研究委員会活動方針発表
一、全体の講評
一、閉会宣言「考える力を身につける」
- 『平成二十五年サンコー物産(株)新年祝賀式並びに自立研究委員会方針と討議』第二部
- 司会進行
一、乾杯の挨拶
一、中締め挨拶
一、閉会の挨拶
- 『明日から夢の実現に向けて頑張ろう』懇親会の会場は別会場です
- 取締役九州営業所所長 杉敏雄
大阪本社 近藤義之
関西第四営業所次長 木田吉建
関西第三営業所所長 山田博士
代表取締役副社長 細川真一
各委員長 平右健三
顧問 下谷健社
関西第一営業所 海老正紀
- 中部営業所 課長 相木健二
関西第四営業所所長 木村宗明
『それそれぞれの委員会に分かれてグループディスカッション』
『委員会内で決まった事を発表して下さい』
和歌山営業所 所長 辻明行
代表取締役副社長 細川真一



『平成25年サンコー物産(株)新年祝賀式並びに第39期目標発表会』
2013年1月5日、冬の寒さにすっぽりと包まれた大阪の道頓堀ホテルにて新年祝賀式を行いました。
2013年の各営業所の目標と個人の目標を発表する場でもありましたが、活気に満ちた開会を迎えることができました。昨年出来なかった事や、更なる目標を立てての決意表明に、全員から激励と連帯の大きな拍手にわきました。取り組みのひとつである、暗騒音資料の販売の貢献や、メンターというマネジメントの技術のプログラムを修め終えた方への社内表彰も行われました。この式にて発表された2013年の当社のスローガンは「自立的で質の高い活動をする為に、もう一步の無理をしよう」です。このスローガンとともに、自身の掲げた目標を達成し地域社会への貢献と、私たちがサンコーマンはこれからも務めてまいります。

本年も弊社を何卒宜しくお願い申し上げます。

関西第一営業所 越智正和



サンコー物産株式会社 大阪市西区南堀江 4-33-29 TEL: 06-6533-1271 FAX: 06-6543-0914

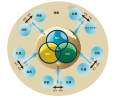
経営理念

私たちは、住環境資材を通じてお客様へのお役立ちと地域社会に貢献します。
私たちは、お客様に優れた品質の商品・サービスを提供し、より豊かな暮らしを応援することで、地域社会のパートナーになることを目指します。

卒業おめでとう!



ジョインメンター育成
傾聴マネジメント学科を終えて



Congratulations on your graduation



関西第3営業所 所長
山田博士

昨年、一年間を通して傾聴マネジメント学科という講習に参加させて頂きました。傾聴マネジメント学科とはジョインメンターを育成する講習で、ジョインメンターとは組織全体を客観視する事ができ、相手を管理コントロールしようというのではなく、鋭い洞察力を持って、組織内に起こる様々な問題点を傾聴し、セクション毎のために、今できることを支援し、解決に導くメンターを言います。・・・とんだか難しそうな説明ですが、つまり職場や家庭で人間関係を円滑に繋ぐ人材となり、皆と一緒に幸せになりますよ!という事なのです。では具体的にどういう事ができるのでしょうか?職場内では上司と部下の橋渡し役となり、お互いの意見や考えを統合することで目的や目標を明確にして共有する事ができます。家庭ではコミュニケーション能力を発揮し、笑顔あふれる思いやりのある家庭を築く事ができます。しかし、一年間の講習でジョインメンターという資格を頂きましたが、まだまだ修行中の身。相手の話をよく聞き、その人の本心に伝えたいことは何なのか?問題点は何なのか?解決策は何なのか?どうすれば幸せになれるのか?と日々、自助努力の毎日です。メールやSNSがコミュニケーションツールとして使われがちな時代ですが、直接的に対話する事で人間関係が良好になるのではないかと思います。



関西第4営業所 次長
木田吉建

私はこの一年、傾聴マネジメントを学んできました。講義の中で最も心の中で残っている事柄について書かせて頂きます。人はそれぞれ能力を発揮できる力を持っています。その能力は人間力と言い、知力・感力・行力・活力があります、それぞれの力が干渉し磨き上げることにより人間力を十二分に発揮できるのです。それぞれの意味は知力とは『頭で知る力』感力とは『感じる力』行力とは『身体の力』活力とは『複合力』です。この4つを覆う力を場力と言います。個人レベルから考えていくと、『知・感・行』はその人のスケールで決まってしまう、それを覆う“場”も必要最小限の大きさになってしまおうのでは無いでしょうか?くるりと考えを反対から考えるとときに“場”を大きく設定すればその中の空間は大きくなり、『知・感・行』はその空間の大きさに比例して膨らますことが可能です。これは個人の能力を十二分に発揮できることを意味しています。『人が場をつくり、場が人をつくっていく』これは職場にも適用します。いかにして“場”「職場環境」を大きく充実した空間にもってけるが重要です。これが実践できる職場創りを心掛けて学んだ事がいかせる様に日々頑張ります。最後になりましたが、一年間講習を受けさせて頂きましたことに感謝いたします。

くお願い致します。

それは「挨拶」です。私がこれから先出会うであろう全体的に気持ちの良い挨拶を提示し続けることで、きつとお客様に感動を与えることができるはずだと信じています。未来のサンコー物を背負って立つような人材(材)となるべく、常に自分の発言には責任を持ち、自らの行動をもって周囲を動かせるような存在を目指してまいります。これからどうぞ宜しくお願い致します。

昨年11月16日に入社致しました、**濱本遼(はまもと りょう)**と申します。関西営業所にて約1ヶ月半の研修を受け、今年5日より関東営業所に配属となりました。まだ与えられた仕事しかこなせていないので周りの先輩方の足を引っ張ってばかりですが、皆さんの熱心な指導により、少しずつではありますが確かな成長を日々実感しています。まだまだ未熟者な私ではありますが、誰にも負けないと自負しているものが一つだけあります。

新入社員紹介

自己紹介と今後の抱負

濱本遼です!

関東営業所 濱本 遼

【2013スローガン】 自立的で質の高い活動をするために、もう一步の無理をしよう!

関西第1営業所 所長 亀野 弘一

旧年中の皆様からのご愛顧に対して心より感謝申し上げます。本年が皆様にとって輝かしい年となることをお祈り申し上げます。

さて、**上記の文言は弊社の2013年のスローガンです。**

昨年までは経営者側で策定しておりましたが、本年より社員さんの提案の中から選定することにしました。お客様の期待を超えるサービスの提供を実現させるために、本年は全社一丸となってもう一步の無理を実践してまいります。

今年も昨年同様、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



編集後記
本社 総務部

